

色えんぴつ



印西市立小林中学校
2学年だより 第2号
令和2年 5月11日 発行

ピンチはチャンス！

みなさんと迎える学校生活を楽しみにしていたのですが、5月いっぱい休校になり、またしばらくは自宅での生活が続きます。残念ですが、ものは考えようです。この期間をどう過ごすか、前向きに考えてみましょう。ピンチは考えようによってはチャンスです！

1 どうやって生活しようか？

学校では、時程表や時間割があって何をやる時間が決まっています。でも、家では「時間があるし、もう少しいいかな。」とただらだらしてはいませんか？そこで、1日をブロックに分けて考えてみましょう。おおまかでいいです。

- | | | |
|--------|-------------|-----------------|
| ① 午前の部 | 9:00～12:00 | 学習の時間（課題やドリルなど） |
| ② 午後の部 | 12:00～16:00 | 自由時間（昼食含む） |
| ③ 夕方の部 | 16:00～19:00 | 学習の時間（1年生の復習など） |
| ④ 夜の部 | 19:00～22:00 | 自由時間（夕食含む） |

学習は40分やったら、20分休憩、これでもなんと1日4時間も勉強できます。また、たまには食事の支度や片付け、掃除、洗濯をしてみましょう。筋トレやジョギングもいいです。そして、1日を振り返って生活ノートを書きましょう！

2 本を読もう！体を動かそう！



じっくり本を読むのもいいです。家族が読んでいた本を貸してもらえば、今までと違う傾向の本が読めるかもしれません。私も読書の傾向に偏りがあるので、たまに家族が買った本を読ませてもらうとほっとすることがあります。自分では絶対買わない本なのですが、面白い。そんな出会いがあるかもしれません。

また、みんなに電話で話を聞いたところ、運動不足の人が多くいます。走ったり、縄跳びをしたり、室内で筋トレやストレッチをしてもいいです。1ヶ月後になりたい自分をイメージして取り組んでみましょう！

3 勉強の仕方を工夫してみよう！

勉強というと、知識を入れること（インプット）しかしていないのではないのでしょうか？いい機会だから、知識を出すこと（アウトプット）をしてみましょう。

〈 やり方 〉

- ① 各教科の重要語句（1年のノートで色ペンで書いてある語句など）を抜き出す。
- ② ①で出した語句に対して自分の知っていることを書き出す。
- ③ 出てこなくなったら教科書やノートを見て確認する。

例えば、「擬人法」

- ・人間以外のものを人間に例える表現。
- ・1年で学習した『河童と蛙』の「月だけひとり。動かない」など。2年の最初の題材『虹の足』の「虹の足」という表現も同じです。
- ・「擬」とは、似せる、まねるという意味。
- ・比喩（例える表現）の一種。他に、「直喩」「隠喩」などがある。

同じように他の教科でも書き出してみましょう。例えば、社会科「藤原氏」理科「置換」など。いい復習になります。



プラス思考で前向きに生きる

これは、中学2年生の時に下半身が動かなくなり、車椅子での生活になった方の話です。入院中にコンピューターに関心を持ち、独学で操作やプログラミングを覚え、インターネット関係の仕事に就くことを考えるようになりました。「自分のすることが誰かの役に立つ。それを自分の仕事にすればいいんだ。面白そうだな。」と考え、ついには、「自分で会社を作って仕事をしよう！」と決心します。中学校を卒業してすぐ、15歳と5ヶ月で彼は社長になりました。父親のだぶだぶのスーツを着て、車椅子で会社をまわってセールスをしたのだそうです。このような生活をしてきた2年後、奇跡的に足の指が動くようになりました。そして、次第に足全体が動くようになり、今では普通に日常生活ができるまでになったそうです。プラス思考で前向きに生きてきたために良いことが起こったと考えられています。私たちもプラス思考で前を向いていきましょう。

- | | |
|---------------------|---------------|
| ① 良い人と出会うこと | ② プラス思考で生きること |
| ③ 感動する心をもつこと | ④ 感謝する心をもつこと |
| ⑤ 世のため人のためを考えて生きること | |



